



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月24日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 東  
 コード番号 7590 URL http://www.takasho.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理本部副本部長 (氏名)井上 淳 (TEL)073(482)4128  
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績(平成27年1月21日～平成27年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	14,154	△1.8	793	15.2	752	1.5	430	3.0
27年1月期第3四半期	14,407	1.1	688	△36.3	742	△30.2	417	△34.2

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 297百万円 (△33.9%) 27年1月期第3四半期 449百万円 (△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年1月期第3四半期	35	04	—	—
27年1月期第3四半期	34	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	17,540		7,769			43.8
27年1月期	16,736		7,717			45.6

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 7,685百万円 27年1月期 7,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年1月期	—	—	0	00	—	—
28年1月期	—	—	0	00	—	—
28年1月期(予想)					17	00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年1月21日～平成28年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,700	△4.2	730	21.0	710	4.4	390	20.7	31	76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年1月期3Q	12,379,814株	27年1月期	12,379,814株
28年1月期3Q	101,362株	27年1月期	101,362株
28年1月期3Q	12,278,452株	27年1月期3Q	12,278,452株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予測値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年1月21日～平成27年10月20日)におけるわが国経済は、株高や円安が維持されたことによる好調な企業収益を背景に、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかながら回復基調が続いています。

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、新設住宅着工戸数は低水準ながら増加基調となっているものの震災復興やオリンピックに向け地方からの人材流出等により全国的に工事を行う作業員が不足しており厳しい状況が続いております。

このような状況の中において、当社グループは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5th ROOM」(フィフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)と家族が笑顔で健康になる庭「ガーデンセラピー」をテーマとした自然や季節を楽しみ、心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充を図りました。さらに、取引先様を対象に来期に向けた商品政策等をご覧いただく自社展示会「第12回タカショーガーデン&エクステリアフェア2015」を7月29日、30日に東京流通センターにおいて開催し、前年を上回る来場者数となりました。また、今後、市場拡大が期待される関東エリアにおけるサービスの向上ならびに販売強化を目的に商品の色や質感を実際に確認していただける体感型の展示や最新情報を備え、お客様のご要望にお応え出来る体制を整えた首都圏ショールームを9月14日に新設し、市場への啓発活動を推進いたしました。

売上高につきまして、プロユース部門では、アルミ製人工木「エバーアートウッド」を用いた「アートフェンス」シリーズの販売が順調に推移したことや、またこれらを構成する部材である「エバーアートウッド」がガーデンエクステリアとして使用されることから販売が順調に推移いたしました。さらに、木、石、塗り壁、和風など様々な天然素材を再現したアルミ複合板「エバーアートボード」の販売も順調に推移いたしました。また、夜の庭を演出する「光」について、当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティングマイスター制度」の認定者の拡大を図り、ローボルト(12ボルト)LEDライト等の照明機器の販売が堅調に推移いたしました。一方で、人工強化竹垣等の和風関連商品の販売が減少したものの売上は前年同四半期と比べ増加いたしました。

ホームユース部門では、前年に比べ商品投入率は増加しているもののホームセンター業界全体の売上が伸び悩む中、天候不順の影響により日除け商品等の販売が低下したことや商品導入のリピート率の低下により、売上は前年同四半期と比べて減少いたしました。

海外展開におきましては、新規顧客の開拓、新商品の投入および中国子会社の工場において品質基準強化や在庫管理機能とデリバリー体制の構築を継続的に行うなど、販売強化に努めてきたものの、一部の外貨に対して前年同四半期比で円高となった影響や納入時期の遅延ならびに不採算販売先の見直し等を行ったことにより、売上は前年同四半期と比べて減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,154,612千円(前年同四半期比1.8%減)と減収となりましたが、利益面においては売上総利益率が改善され、販売管理費が抑えられたことにより営業利益は793,461千円(前年同四半期比15.2%増)と増益となりました。また、営業外費用において、為替変動の影響により、経常利益は752,941千円(前年同四半期比1.5%増)となり、四半期純利益は430,286千円(前年同四半期比3.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,540,116千円(前連結会計年度末と比べ803,774千円増)となりました。

流動資産においては、プロユース部門の売上増加に伴い受取手形及び売掛金が4,044,774千円(前連結会計年度末と比べ883,035千円増)となりました。また、販売に向けた在庫保管によりたな卸資産が4,463,496千円(前連結会計年度末と比べ124,650千円増)となりました。固定資産においては、ショールームの新設等により建物及び構築物が2,732,151千円(前連結会計年度末と比べ131,487千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が3,676,154千円(前連結会計年度末と比べ861,102千円増)、また運転資金の長期借入金から短期借入金への移行により短期借入金が2,657,270千円(前連結会計年度末と比べ258,721千円増)となりました。固定負債においては、運転資金の長期借入金から短期借入金への移行により長期借入金が938,052千円(前連結会計年度末と比べ428,710千円減)となりました。

純資産においては、利益剰余金の増加により7,769,825千円(前連結会計年度末と比べ51,830千円増)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成27年11月20日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が45,125千円減少し、利益剰余金が28,997千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,408,277	2,642,539
受取手形及び売掛金	3,161,738	4,044,774
商品及び製品	3,424,705	3,451,758
仕掛品	271,967	295,264
原材料及び貯蔵品	642,172	716,473
繰延税金資産	107,651	243,002
その他	1,249,923	554,215
貸倒引当金	△103,680	△98,254
流動資産合計	11,162,757	11,849,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,600,663	2,732,151
土地	746,070	746,072
建設仮勘定	12,627	11,267
その他(純額)	455,037	490,056
有形固定資産合計	3,814,399	3,979,548
無形固定資産		
のれん	139,642	107,875
その他	553,356	508,425
無形固定資産合計	692,998	616,301
投資その他の資産		
投資有価証券	156,750	134,191
繰延税金資産	914	522
その他	938,592	984,057
貸倒引当金	△30,070	△24,279
投資その他の資産合計	1,066,186	1,094,492
固定資産合計	5,573,584	5,690,341
資産合計	16,736,342	17,540,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,815,052	3,676,154
短期借入金	2,398,548	2,657,270
1年内返済予定の長期借入金	1,057,341	981,924
未払法人税等	171,126	218,232
賞与引当金	58,285	146,540
その他	945,763	909,967
流動負債合計	7,446,117	8,590,088
固定負債		
長期借入金	1,366,763	938,052
退職給付に係る負債	112	219
資産除去債務	90,725	103,803
その他	114,628	138,127
固定負債合計	1,572,229	1,180,202
負債合計	9,018,347	9,770,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,307,776	1,307,776
資本剰余金	1,358,461	1,358,461
利益剰余金	4,246,117	4,438,672
自己株式	△26,468	△26,468
株主資本合計	6,885,886	7,078,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,800	35,698
繰延ヘッジ損益	191,000	1,829
為替換算調整勘定	437,433	465,735
退職給付に係る調整累計額	69,408	104,228
その他の包括利益累計額合計	746,643	607,491
少数株主持分	85,465	83,891
純資産合計	7,717,995	7,769,825
負債純資産合計	16,736,342	17,540,116

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年10月20日)
売上高	14,407,732	14,154,612
売上原価	8,519,854	8,268,561
売上総利益	5,887,877	5,886,051
販売費及び一般管理費	5,199,390	5,092,590
営業利益	688,487	793,461
営業外収益		
受取利息	3,971	4,910
受取配当金	1,757	1,681
受取手数料	45,901	42,792
為替差益	13,261	-
その他	70,012	20,479
営業外収益合計	134,904	69,863
営業外費用		
支払利息	51,937	42,337
為替差損	-	16,889
売上割引	20,289	22,584
コミットメントフィー	2,166	22,241
その他	6,889	6,330
営業外費用合計	81,283	110,384
経常利益	742,108	752,941
特別利益		
固定資産売却益	188	185
特別利益合計	188	185
特別損失		
固定資産除却損	2,789	325
特別損失合計	2,789	325
税金等調整前四半期純利益	739,507	752,800
法人税、住民税及び事業税	411,124	355,794
法人税等調整額	△95,962	△40,964
法人税等合計	315,162	314,829
少数株主損益調整前四半期純利益	424,344	437,970
少数株主利益	6,459	7,683
四半期純利益	417,885	430,286



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	424,344	437,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,103	△13,102
繰延ヘッジ損益	△75,760	△189,171
為替換算調整勘定	50,825	26,647
退職給付に係る調整額	-	34,819
その他の包括利益合計	25,168	△140,806
四半期包括利益	449,513	297,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,722	291,135
少数株主に係る四半期包括利益	7,790	6,028

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。